# 平成25年度 実施計画・事務事業評価(事後評価)シート

## 基本事項

L <del>幽小</del> 尹汉												
部等名	市民福祉部		課等名	こども課		記	己入者。	名	大野		内線	169
事務事業名	家庭児童相談等事業費事業					間	平成	18	年度	~ 平	成	年度
総合計画上の	基本方針	基本方針 思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり										
位置付け	施策	子育て支	一育て支援・児童福祉の充実									
山下(百)(1)	細 施 策	相談・指導の充実										
根拠法令・条例、関連計画等 出水市家庭相談員及び母子自立支援員設置要綱												
予算細々目名						計	款	項	目	細目		
家庭児童相談等事業費						1	3	3	1	3		

# 事務事業の目的(何のためにするのですか)

家庭における適正な児童の養育による家庭児童福祉の向上を図るため、家庭相談員を委嘱し、児童養育、家庭関 係等に関する相談支援等を行う。

出水市要保護児童対策地域協議会調整機関として、代表者会議、実務者会議、個別ケース会議を開催し、要保護 児童等の適切な保護、支援を図るための情報交換を実施する。

## 事務事業の概要 3

<u> </u>			
H24年度の事業概要	H25年度の 事業概要・計画	H26年度の事業計画	H27年度の事業計画
<ul> <li>・家庭相談員</li> <li>非常勤 3人</li> <li>1か月 14日勤務</li> <li>・出水市要保護児童対策</li> <li>地域協議会</li> <li>代表者会議 1回</li> <li>実務者会議 1回</li> <li>個別ケース会議 18回</li> </ul>	<ul> <li>・家庭相談員</li> <li>非常勤 2人</li> <li>1か月 14日勤務</li> <li>・出水市要保護児童対策</li> <li>地域協議会</li> <li>代表者会議 1回</li> <li>実務者会議 1回</li> <li>個別ケース会議 随時</li> </ul>	<ul> <li>・家庭相談員</li> <li>非常勤 3人</li> <li>1か月 14日勤務</li> <li>・出水市要保護児童対策</li> <li>地域協議会</li> <li>代表者会議 1回</li> <li>実務者会議 1回</li> <li>個別ケース会議 随時</li> </ul>	<ul> <li>・家庭相談員</li> <li>非常勤 3人</li> <li>1か月 14日勤務</li> <li>・出水市要保護児童対策</li> <li>地域協議会</li> <li>代表者会議 1回</li> <li>実務者会議 1回</li> <li>個別ケース会議 随時</li> </ul>

4	事務事業の対象・手段・意図						
	対象(誰・何に対して行う事業ですか)	手段(対象に対してどのような活動を行うのですか)					
	児童と児童のいる家族	相談者の話を聞き、助言、指導、支援等を行う。					
	意図(活動により対象をどのような状)	態にしたいのですか)					
	児童家庭の健全育成を図る。						

# 事務事業評価(事後評価) 1 指標の推移

区	分	指	票	名	単位	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標	集 年度	を終目標 目標値
活動	1)	要保護児童対策地域表者会議、実務者会	战協議会 会議、ケ	会議数(代ース会議)	回	20	20	20	20		
指標	2										
成果	(1)	相談件数(実件 (延件			件	150 503	150 500	150 500	150 500		
指標	2	虐待児童数			人	48	50	50	50		

	指標	2	虐待	児童	数	人	人 48 50		50 50						
2			成身		票・・・事業内容を示すす 票・・・施策・事務事業 <i>の</i> <i>価</i>							ど)			
ſ		成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか													
□ な v <sup>理由</sup>															
	有		あ	る	」 広報等を利用して相	談窓口	を周知する。								
	効	J	廃止・休止した場合の影響はありますか												
	性														
			児童虐待の未然防止に相談業務は必要である。												
		成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)													
١			な	しい	理由										
		■ な V									訪問調査				
١	効	2	類似	事業	の有無と統合の可能性	生はな	いですか(	市以外の取約	用含te)						
١	率	■ to vi <sup>理由</sup>													
	性														
١			市と受益者との負担割合は妥当ですか(受益者負担がある場合に記入してください)												
١		П	は	١,	理由	理由									
		□ いいえ 本事業には該当しない。													
ı		他の市町村では実施している事業ですか(県内の他市の状況等を具体的に記入してください)													
	そ ・ 県内の全ての市に家庭相談員がいる。 ・ すべての市に要保護児童対策地域協議会が設置されている。														
3		今	後(	の方	向性、改善案等		次評価)								
	4	今後	後のフ	与向付	生 (総合評価)		方向性の理問	由、改善案等	Ė.						
			改善	して	□ 現行のまま継続 ※継続 弥 □ 廃止・休止		ていることか	数が増加の傾 ら相談員2人							
$\dot{4}$					向性、改善案等		次評価)								
	/.	今後	後のフ	方向付	生 (総合評価)		方向性の理	由、改善案等	ž						
				して	■ 現行のまま継続 ※継続 歯小 □ 廃止・休止	0	分析を行った	様に現行のま 上で別途協議 充実に努める	する。勤務時						

5 今後の方向性、改善案等(最終評価)

一一今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<ul><li>□ 拡大</li><li>□ 現行のまま継続</li><li>□ 改善して継続</li><li>□ 統合・縮小</li><li>□ 廃止・休止</li></ul>	二次評価と同様に現行のまま継続とするが、多様化・複雑化する相談 に適切に対応すべく、関係機関との連携をとりながら、相談体制の充実 を図る。